

報道関係各位

農業と観光との連携による農作業受委託モデル事業 「農村交流イベント」の実施について

このことについて、旅行と農作業体験をセットにしたアグリツアーの参加者に山形の良さを実感してもらうため、下記のとおり実施しますので、取材くださるようお願いいたします。

本事業は、農業の人手不足解消と農を起点とした交流人口の拡大等を目的として、本年3月に山形県、全国農業協同組合連合会山形県本部（JA全農山形）及び株式会社JTBの3者で締結した連携協定に基づき実施している農作業受委託モデル事業（別添資料参照）の一環で実施するものです。

記

- 1 日 時 令和5年10月10日（火）10:00～14:00
- 2 場 所 村山市大倉地区
- 3 集合場所 大倉地域市民センター（村山市大字たも山463-14）
- 4 内 容 イベント参加者による「フットパス体験」（オリジナルコース）
農家レストラン「草木庵」での昼食
イベント参加者と大倉地区住民との交流
※イベントの詳細は別添チラシを参照
- 5 参加者 10月11日（水）～10月15日（日）までの期間に、ラ・フランス収穫作業に従事する東京都や大阪府などの県外在住者等

【お問い合わせ先】

<p>○ 事業の全体概要について 農林水産部農業経営・所得向上推進課 課長補佐（農業経営・金融担当）後藤 TEL：023-630-2286 報道監 農林水産部次長 齋藤 邦仁</p>	<p>○ アグリキャンプの詳細について JA全農山形 営農企画部 営農支援課 佐藤 大輔 TEL：023-634-8134 【当日の連絡先】 松浦（広報担当） TEL：080-3330-8850 株式会社JTB 広報室 TEL：03-5796-5833</p>
---	--

以上

2023年10月10日 火

ラ・フランス農作業ツアー
参加者限定!!

村山市大倉 農村交流イベント

参加費
無料

村山市大倉 (イメージ)

フットパス体験

フットパスって!何?

森林や田園などに設けられた歩行者用の小道のことです。ありのままの自然や、歴史的な場所を楽しみながら散策します。今回はフットパスのエッセンスを感じていただくために、本来、徒歩約8kmのコースにバス移動を組み込み、歩行時間を短縮し、ダイジェストに観光します。



マスコットキャラクター
「ケットパス君」

専門ガイド
同行

JTBオリジナルコース

大倉地域市民センター

↓バスで移動

参道入口



飯山阿弥陀堂 (イメージ)

↓徒歩

(約800m/約15分)

中沢不動尊堂 観光

↓徒歩

(約900m/約20分)

飯山阿弥陀堂にて語部

(約15分)

※椅子をご用意しております



中沢不動尊堂 (イメージ)

↓バスで移動

なめりかわ

行川八幡神社 観光

↓徒歩1分

くさきあん

農家レストラン「草木庵」にて昼食

※歩きやすい靴でご参加ください

※雨天の場合には雨具をご用意ください

行程表

9:00頃: 山形市内ホテル 出発

10:00頃: 大倉地域市民センター

フットパス体験

※雨天決行 (悪天候で催行不可の場合には大倉ふる里かるたとり体験となります)

12:10頃: 農家レストラン「草木庵」

「人生の楽園」で紹介された農家レストランでのお食事をお楽しみください

13:00頃: 農村交流イベント

フットパスが始まった由来のお話、地元で収穫した棚田米や加工品販売など、地元の方とのふれあいの時間をお楽しみください

14:30頃: 農家レストラン 出発

15:30頃: 山形市内ホテル 到着

※出発地・出発時間の詳細は後日連絡いたします

農家レストラン 草木庵

平成20年4月8日、築160余年の古民家を移築、リフォームして、農産加工所をスタート。平成26年6月1日に農家レストランとして「草木庵」をオープン。自家産と村山市産の旬の食材を活かした郷土料理を御膳形式で提供。



たもやま
福山膳 (イメージ)

農業と観光との連携による農業人材創出に関する連携協定の概要

令和5年10月5日
農林水産部

○ 本県では、令和5年度から、農業労働力不足の解消と、農を起点とした交流人口の拡大等を目的とした「元気な農業人材確保プロジェクト」の展開を予定しており、山形県、JA全農山形及びJTBの相互連携と協働による三者協定を締結し、プロジェクトの推進体制を強化する。

三者連携協定の枠組み



- **協定の趣旨・目的**
農業人材の確保をはじめとする本県農業の課題の解決及び農を起点とした関係人口の創出のための連携強化を図るもの。
- **主な協定項目**
 - ・首都圏等からの農業に関心のある企業、人材の**本県への呼び込み**
 - ・農作業委託のニーズ把握と多様な人材との農作業委託の調整
 - ・首都圏の人材等と**県内の農業・他産業との交流促進**
 - ・県産農産物等の地域資源やイベント情報の広報誌、SNS等による周知
 - ・農作業体験や農業者等と交流する旅行商品造成
- **締結日**
令和5年3月22日(水)
- **協定期間**
令和9年3月31日まで
(延長の可能性あり)

連携協定の概要

農を起点として人材を呼び込む新たなツール

アグリワーケーション

企業・社員 ~ 社員のワーケーションの合間に農作業に従事 ~

- CSR, SDGs, 健康経営等で地方と連携
- 社員教育による人材育成
- 異業種交流でのビジネスチャンス開拓
- 自由で多様な働き方の実現

メリット

- 農業を通じた地域貢献によるCSRの実現
- 現場感覚や新たな視点を持つ人材の育成
- 従業員の心身のリフレッシュ、生産性の向上、健康経営の実現

アグリキャンプ

部活・企業のスポーツチーム ~ 合宿のついでに農作業に従事 ~

- 合宿を通じたチームビルディング
- 合宿費用、活動費の確保
- 合宿先でしかできない経験

メリット

- 空き時間の農業従事者で活動費の獲得
- 農作業体験を通じたチームワーク醸成

アグリツアー

観光客 ~ 旅行メニューとして農作業を体験 ~

- 山形の魅力を感じられる旅行
- 農業、農村暮らし体験への憧れ
- より充実した旅行、満足感

メリット

- 旅行+ついでに農業従事者で賃金を獲得
- 旅先でしか得られない体験や交流

農作業委託モデルの構築



協定締結による具体的な取組み

県内外の異業種交流機会の提供

- ・農や食、SDGs等をテーマにした県内企業との交流会の開催
- ・「スタートアップステーション・ジョージ山形」を活用した異業種交流の創出や、コワーキングスペースの提供

やまがた暮らし・農村暮らし体験

農作業体験+農村や地域の魅力を体験できる交流イベントの開催

期待される効果

- 多様な人材の活用による、**自走できる農作業委託モデルの実証・構築**
- 農を起点とした**関係人口の増加**
 - 企業の**農業分野への新規参入**
 - 関係人口の増加により
 - 若者などの**新規就農の増加**

波及効果

- ・異業種交流による企業活動の活性化、ビジネスチャンス創出
- ・関係人口やリピーター観光客の増加による山形ファンの形成
- ・交流人口の拡大による農村集落の活性化